

下巻
聖徒伝 160

「天よ、聞け。
地も耳を傾けよ」

イザヤ書1～2章

主が語られる裁きと希望

アウトライン

0. イントロダクション

I. イスラエルの罪の宣告 1章

II. 主の日の裁きと希望 2章

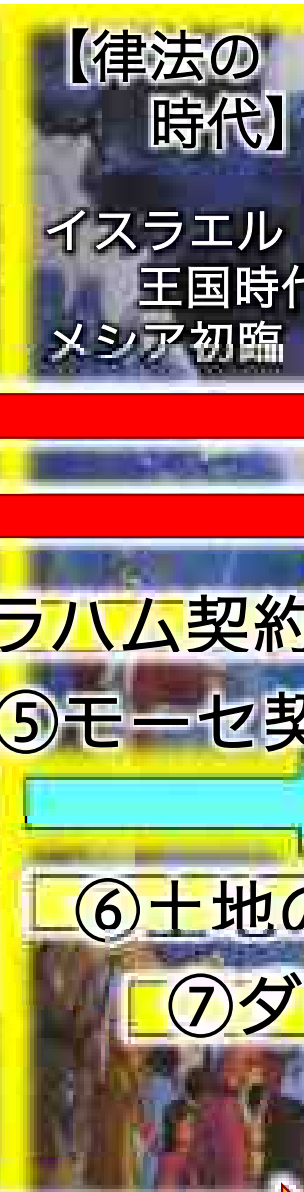
III. まとめと適用

預言者の語る希望の本質とは？

今の時代も変わらない

終末の希望を胸に!!





【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル
王国時代
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

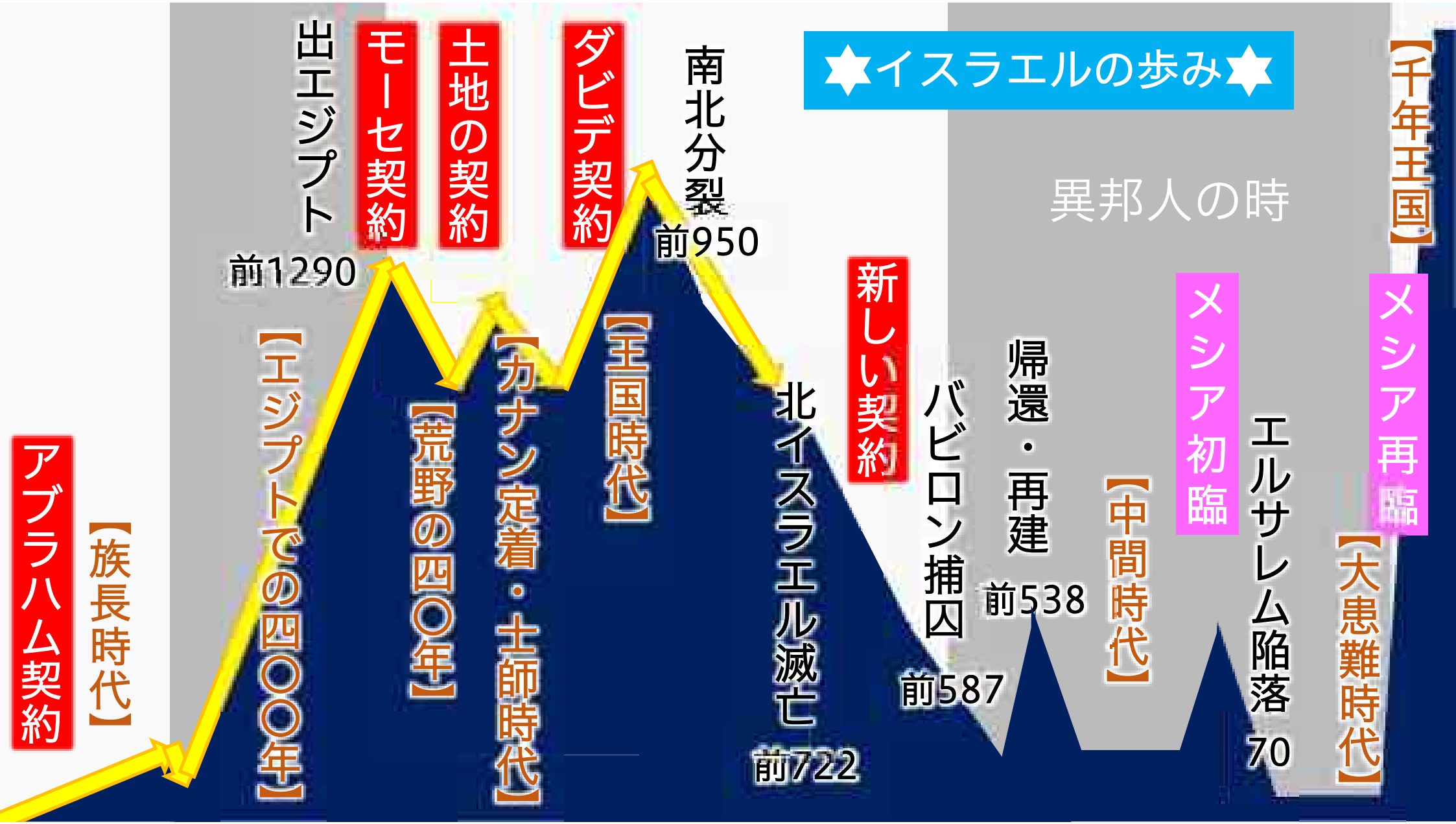
神の約束こそが
その時代の守り

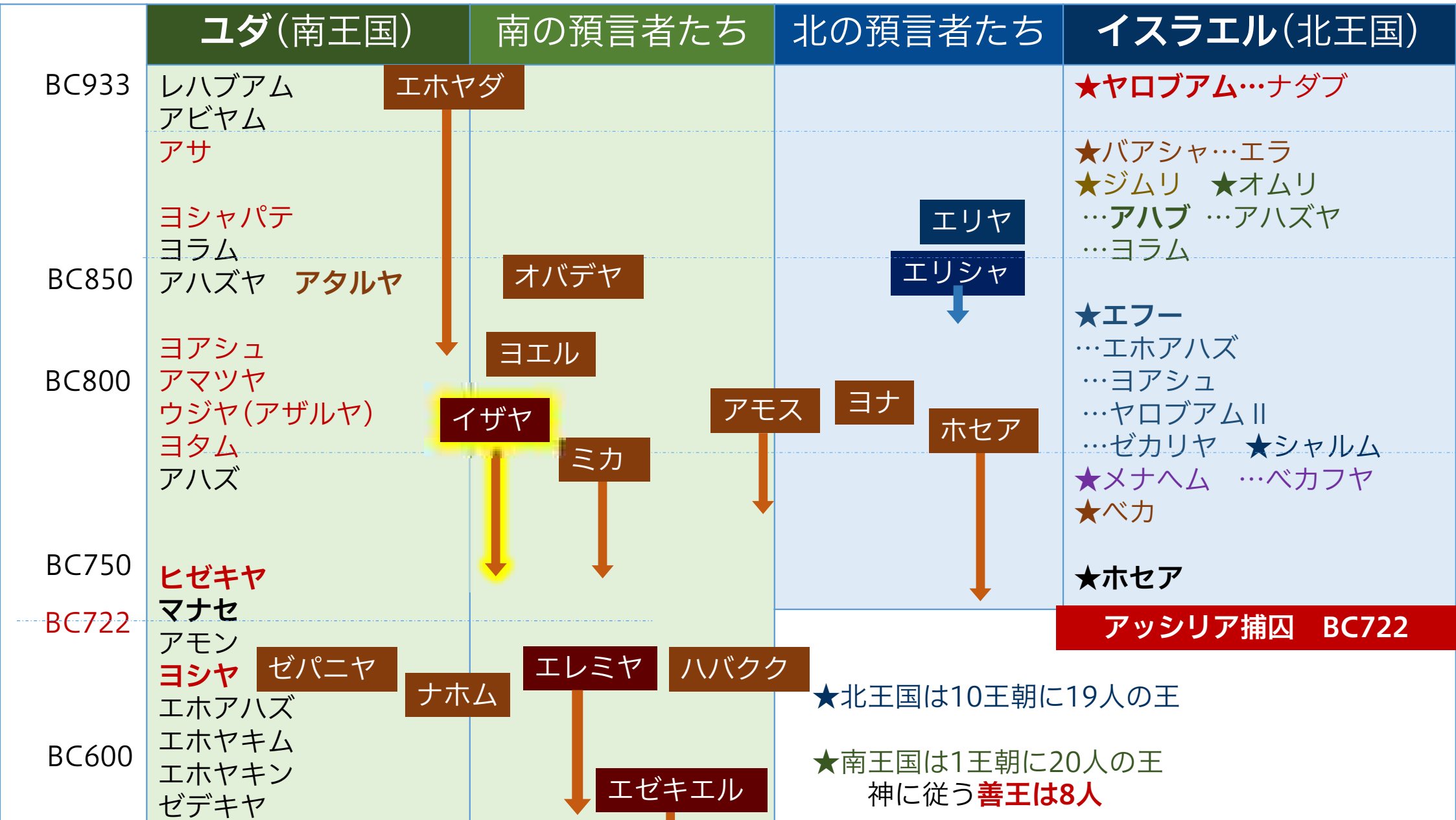
過去

現在

未来

★イスラエルの歩み★





預言者イザヤとは？

- イザヤ = “ヤハウエは救い”
- エルサレム在住。貴族。アマツヤ王の甥。結婚し、二人の子がいた。
- 北王国に捕囚の滅亡が迫る時代の**南王国**で活躍。ウジヤ→ヨタム→アハズ→ヒゼキヤの時代。60年に及ぶ奉仕期間。ミカとは同世代。
- 間近に迫った裁きを告げ、悔い改めを迫った。将来の捕囚の民をも意識し、帰還の希望を語り、さらには、究極的な**メシア的王国**の建設を予告。



鍵を握るのは
“イスラエルの
残れる者”

イザヤが仕えた南王国ユダの4人の王

- ① **ウジヤ(善王)**…在位52年。前半は主に忠実。周辺諸国を従え、南王国は最盛期。晩年、祭司への越権行為でツアラアトに罹患。
- ② **ヨタム(善王)**…在位16年。主に忠実。国の衰退を押しとどめることはできなかった。
- ③ **アハズ(悪王)**…偶像崇拝を神殿にまで持ち込む。
- ④ **ヒゼキヤ(善王)**…在位25年。偶像を取り除く。地下水道建設。アッシリアの侵略は免れた。劇的な癒やしと奇跡。バビロン捕囚の影も…。



北王国
イスラエル

南王国
ユダ

ホセア

アモス

ベカ

20年

ホセア

9年

混沌の時代

アッシリア捕囚①

アッシリア捕囚②

ヤロブアムⅡ

41年

ゼカリヤ

6ヶ月

シャルル

1ヶ月

メナヘム

10年

ベカフヤ

2年

滅亡の時代

南北時代の最盛期

ヨナ

29年

アマツヤ ♡

ウジヤ ♡

52年

ヨタム ♡

16年

アハズ ☠

16年

ヒゼキヤ ♡

29年

ミカ

イザヤ

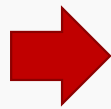
【預言者視点で見る預言書は、こんな感じ？ 実際は？】



【預言者たちの告げたこと】



南北時代



① 直近の
苦難

メシア初臨



② 主の日
大患難時代



③ 回復
メシア再臨



Ⅰ. イスラエルの罪の宣告

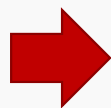
イザヤ書1章

ヘルモン山

【預言者たちの告げたこと】



南北時代



① 直近の
苦難

メシア初臨



② 主の日
大患難時代



③ 回復
メシア再臨

まえがき イザヤの幻 イザヤ1:1

アモツ*の子イザヤ*の幻*。これは彼がユダとエルサレムについて、ユダの王ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代に見たもの*である。

*“強い” …アマツヤ王の兄弟。

*“ヤハウエは救い”

*神が与えたビジョン。

→イザヤは見たままを語った。

見たまま、聞いたままを伝えるのが預言者の使命



罪の宣告 天よ、聞け イザヤ1:2

天よ、聞け。地も耳を傾けよ。【主】が語られる*からだ。「子どもたちはわたしが育てて、大きくした。しかし、彼らはわたしに背いた。

*“シェマー、シェマリーム”

*主が語られるがゆえに、預言者は語る。



シナイ山

罪の宣告 罪深き国民 イザヤ1:3~4

「牛はその飼い主を、ろばは持ち主の飼葉桶を知っている。しかし、イスラエルは知らない。わたしの民は悟らない。」

わざわざいだ。罪深き国、咎重き民、悪を行う者どもの子孫、墮落した子ら。彼らは【主】を捨て、イスラエルの聖なる方を侮り、背を向けて離れ去った。

■イスラエルの最悪の罪とは、律法を破り、甚だしい偶像礼拝に陥ったこと。



家畜にも劣る
イスラエルの忠誠

罪の宣告 極まった罪 イザヤ1:5～6

あなたがたは、**反抗に反抗を重ねて**なおも、どこを打たれようというのか。頭は残すところなく病み、心臓もすべて弱っている。

足の裏から頭まで健全なところはなく、傷、打ち傷、生傷。絞り出してももらえず、包んでももらえず、油で和らげてももらえない。

- 荒野の40年～士師の時代～王国時代～
～南北分裂以降、さらに**重ねられた罪**。
→もはや裁きは逃れ得ない!!



罪の宣告 略奪と破壊 イザヤ1:78

あなたがたの地は荒れ果て、あなたがたの町々は火で焼かれている。土地は、あなたがたの前で他国人が食い荒らし、他国人に破壊されたように、荒れ果てている。

しかし、娘シオン*は残された。あたかも、ぶどう畑の小屋のように、きゅうり畑の番小屋のように、包囲された町のように。

*エルサレム

■ 背後にアッシリアや周辺諸国の略奪。

南王国にも甚大な被害が!!



罪の宣告 生き残りの者 イザヤ1:9~10

もしも、万軍の【主】が私たちに生き残りの者*をわずかでも残されなかったなら、私たちもソドムのようになり、ゴモラと同じになっていたであろう。

聞け。ソドムの首領たちよ、【主】のことばを。耳を傾けよ。ゴモラの民よ、私たちの神のみおしえに。

*イスラエルの残れる者。真の信仰者たち。

■士師時代、ベニヤミン族の聖絶事件も。

わずかな信仰者ゆえ、保たれたイスラエル。

鍵を握るのが
“イスラエルの
残れる者”

ソドムの滅び



罪の宣告 虚しい献げ物 イザヤ1:11~12

「あなたがたの多くのいけにえは、わたしにとって何になろう。——【主】は言われる——わたしは、雄羊の全焼のささげ物や、肥えた家畜の脂肪に飽きた。雄牛、子羊、雄やぎの血も喜ばない。あなたがたは、わたしに会いに出て来るが、だれが、わたしの庭*を踏みつけよとあなたがたに求めたのか。

*主の栄光が臨在される**神殿の庭**

➔アハズは神殿の庭に偶像の祭壇を築いた。

■心の伴わない献げ物は、主の目には無意味。



罪の宣告 主の拒絶 イザヤ1:13~14

もう、むなしいささげ物を携えて来るな。香の煙、それはわたしの忌み嫌うもの。新月の祭り、安息日、会合の召集*——わたしは、不義と、きよめの集會に耐えられない。

あなたがたの新月の祭りや例祭*を、わたしの心は憎む。それはわたしの重荷となり、それを担うのに疲れ果てた。

*いずれも律法に定められたことだが…。

➔ 真の回心を伴わない礼拝は無意味。



罪の宣告 無意味な祈り イザヤ1:15~16

あなたがたが手を伸べ広げて祈っても、わたしはあなたがたから目をそらす。どんなに祈りを多くしても聞くことはない。あなたがたの手は血まみれだ。洗え。身を清めよ。わたしの目の前から、あなたがたの悪い行いを取り除け。悪事を働くのをやめよ。

■主イエスの警告 マタイ 7:21

わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです」



罪の宣告 神の招き イザヤ1:17~18

「善をなすことを習い、公正を求め、虐げる者を正し、みなしごを正しくさばき、やもめを弁護せよ。」

「さあ、来たれ。論じ合おう。——【主】は言われる——たとえ、あなたがたの罪が**緋**のように赤くても、**雪**のように白くなる*。たとえ、**紅**のように赤くても、**羊の毛**のようになる。」

*律法の本質は、主に聴き従い、善と公正をなし、弱者を保護すること。

*罪がきよめられる様子を表現。

主が罪の世界を完全にきよめる

エルサレムの雪



罪の宣告 祝福と呪い イザヤ1:19~20

あなたがたは、もし喜んで聞こうとするなら、この地の良い物を食べることができる。

しかし、もし拒んで背くなら、剣に食い尽くされる。——【主】の御口がそう語られる。」

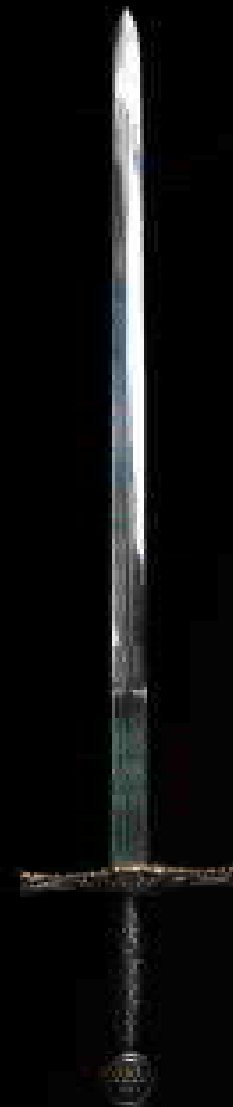
■律法の原則は、“祝福と呪い”

主に従い、いのちを得るか。拒んで滅ぶか。

→突きつけられるのは、二つに一つの選択

■主に背き、律法を破ったイスラエルへの呪い。

→約束の土地を追われ、捕囚の身に。



罪の宣告 不義の都 イザヤ1:21~22

どうして遊女になったのか、忠実な都が。
公正があふれて、義がそこに宿っていたのに。
今は人殺しばかり*だ。

おまえの銀は金かす*になった。おまえの良
い酒も水で薄められている。

*神の基準では、嘲りは殺人と同意。

*金属の精錬過程で取り除かれる不純物。

■アハズ王の時代には、神殿の庭にまで
偶像の祭壇が築かれた!!



罪の宣告 神の敵 イザヤ1:23～24

おまえの君主たちは強情者、盗人の仲間。
みな賄賂を愛し、報酬を追い求める。みな
しごを正しくさばかず、やもめの訴えも彼
らには届かない。「それゆえ——万軍の
【主】、イスラエルの力強き者である主の
ことば——ああ、わたしは逆らう者*に思い
を晴らし、わたしの敵*に復讐する。」

*主に逆らい背く、イスラエル(神の民)は、
神の敵とされてしまう。



罪の宣告 精錬される神 イザヤ1:25～26

わたしは、わが手をおまえに対して向け、おまえの金かすを灰汁のように溶かし、その浮きかすをみな除く。

こうして、おまえをさばく者たち*を以前のよう、おまえに助言する者たち*を最初のようにする。その後、おまえは正義の町、忠実な都と呼ばれる。」

*偽指導者、偽預言者は神に見捨てられる。

■ 神が世界を精錬されるのが、大患難時代。

裁きの炎で、イスラエルはきよめられる。



罪の宣告 二つの結末 イザヤ1:27~28

シオンは**公正***によって贖われ、その町の立ち返る者は**義***によって贖われる。

背く者と罪人はともに破滅し、【主】を捨てる者は消え失せる。

*究極的な公正と義の贖い主が、主イエス。

■都エルサレムが、完全に贖われる時は来る。

悔い改めた者は、すべて罪を贖われる。

■背き通した者には、滅びの裁きが待つ。



罪の宣告 罪人の末路 イザヤ1:29~31

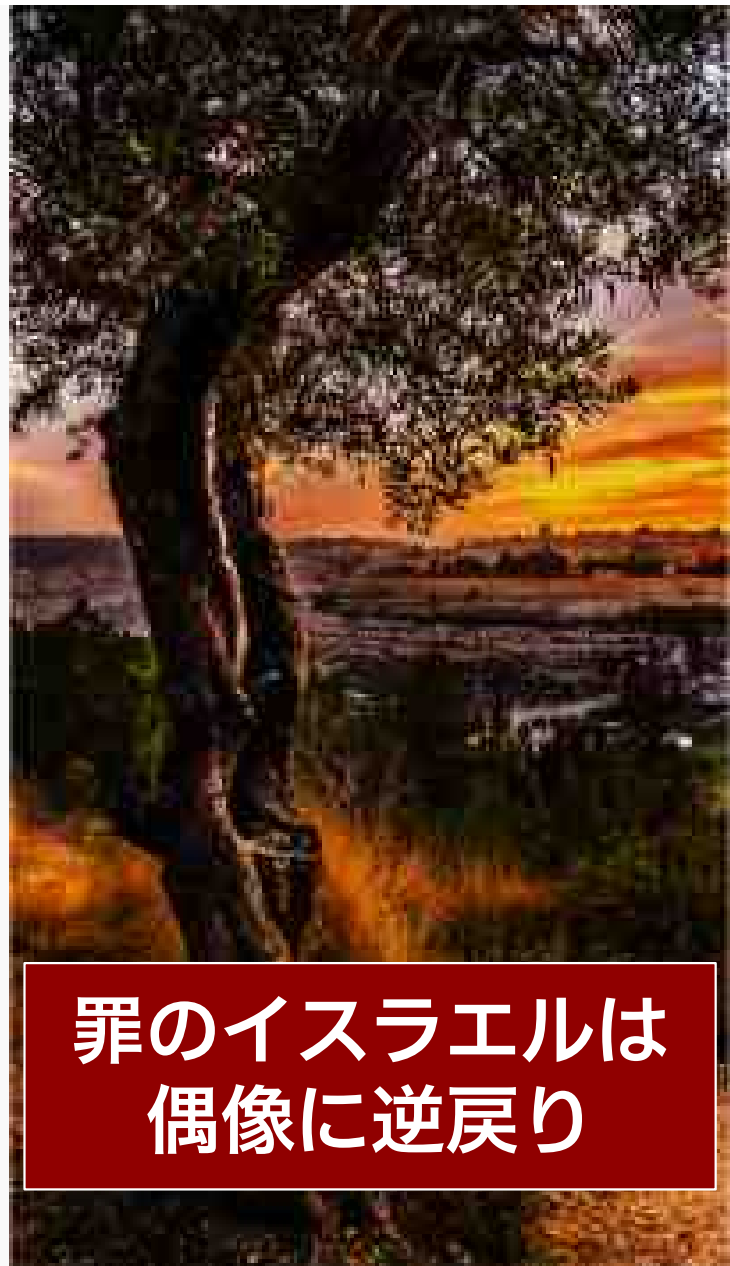
まことに、彼らはあなたがたが慕った**榿の木***で恥を見、あなたがたは自ら選んだ園によって屈辱を受ける。

あなたがたは葉のしおれた榿の木のように、水の無い園のようになるからだ。

強い者は麻屑に、その行いは火花になり、二つとも燃えさかり、これを消す者はいない。

*榿の木の根元に偶像の祭壇が築かれた。

➔アブラハムの最初の祭壇はモレの榿の木



罪のイスラエルは
偶像に逆戻り



II. 主の日の裁きと希望

イザヤ書2章

神殿の丘

【預言者たちの告げたこと】



南北時代

➡ ① 直近の
苦難

メシア初臨

➡ ② 主の日
大患難時代

➡ ③ 回復
メシア再臨

千年王国 主の家の山 イザヤ2:1~2

アモツの子イザヤが、ユダとエルサレムについて見たことば。

終わりの日に、【主】の家の山*は山々の頂に堅く立ち、もろもろの丘より高くそびえ立つ。そこにすべての国々が流れて来る。

*エルサレム。シオンの山。ミカ4:1~3

■千年王国では、神の都エルサレムが、地理的にも霊的にも、一番高い場所に。



千年王国 神の言葉の源泉 イザヤ2:3

多くの民族が来て言う。「さあ、【主】の山、ヤコブの神の家に上ろう。主はご自分の道を私たちに教えてくださる。私たちはその道筋を進もう。」それは、シオンからみおしえが、エルサレムから【主】のことばが出る*からだ。

*ミカ4:2、エレミヤ50:5、ゼカリヤ8:20他

*王の王、主の主なるイエスのことばを求め、世界中から信仰者たちが上ってくる。



千年王国 主の光の内を イザヤ2:4~5

主は国々の間をさばき、多くの民族に判決を下す。彼らはその剣を鋤に、その槍を鎌に打ち直す。国は国に向かって剣を上げず、もう戦うことを学ばない。ヤコブの家よ、さあ、私たちも【主】の光のうちを歩もう。

- 王なる平和の主イエスが世界を支配される。
絶え間ないイスラエルの戦いは終わる。
- 律法に従い、**栄光**の宿る神殿で礼拝する。
→ 永遠の神の国での礼拝に続いている。



罪の告発 偽りの繁栄 イザヤ2:6~7

まことに、あなたは、あなたの民、ヤコブの家を捨てられました。彼らはペリシテ人のように東方からの者、**卜者***で満ち、異国人の子らであふれています。

その地は銀や金で満ち、財宝は限りなく、その地は馬で満ち、戦車の数も限りありません。

* 占い師、呪術師。

■ 最盛期を迎えていたイスラエル、ユダ。

信仰的には墮落し、偶像礼拝がはびこる。



罪の告発 偽りの神々 イザヤ2:8~9

その地は偽りの神々で満ち、彼らは自分の手で造った物を、指で造った物を拝んでいます。こうして人間はかがめられ、人は低くされます。彼らを赦さないでください。

- 偶像礼拝を重ねたイスラエルは、ヤロブアム二世の繁栄の後、滅亡に向かう。ユダでは、アハズ王が神殿で偶像礼拝。
- 罪を犯した神の民から、栄誉は奪われる。

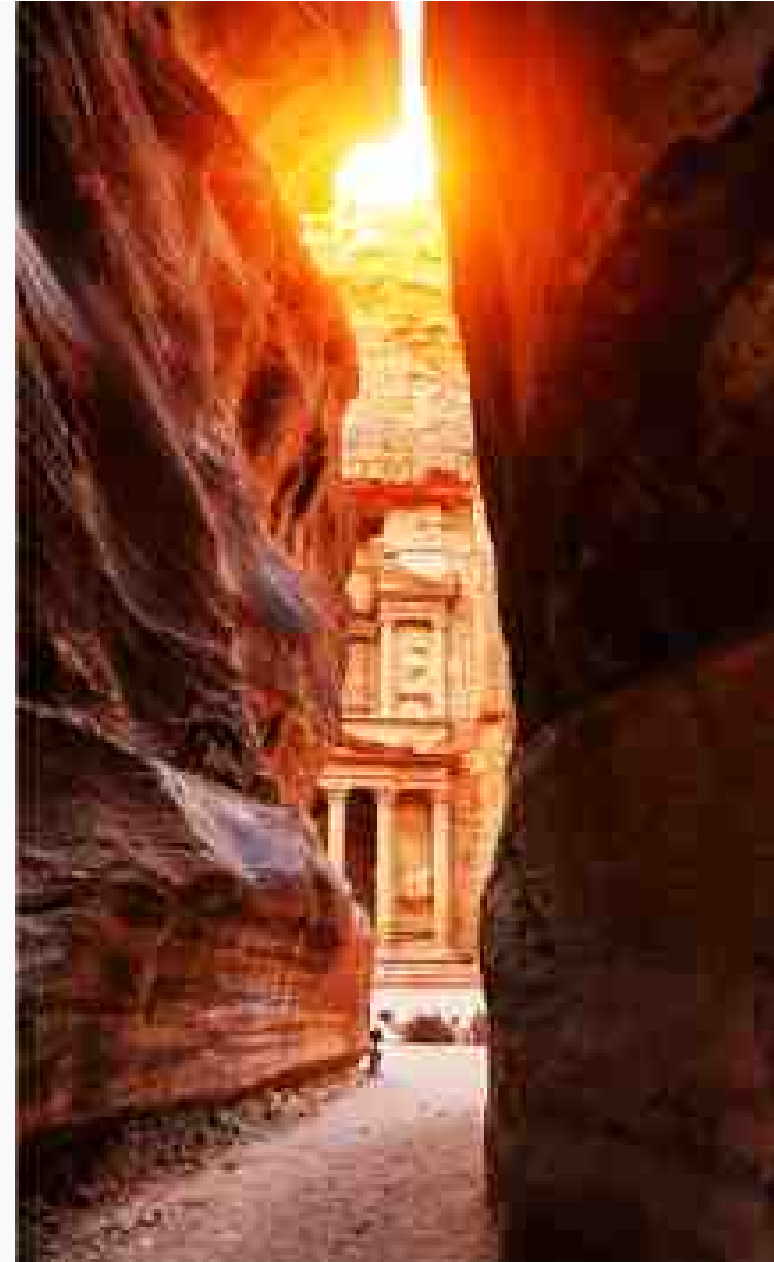


終末の裁き 主の日 イザヤ2:10~11

岩の間に入り、土の中に身を隠せ*。【主】の恐るべき御顔を、その威光の輝きを避けて。

その日には、人間の高ぶりの目は低くされ、人々の思い上がりはかがめられ、【主】おひとりだけが高く上げられる。まことに、万軍の【主】の日は、すべてのおごり高ぶる者、すべての誇る者の上であり、これを低くする。

*大患難時代後半、反キリストの迫害を逃れ、イスラエルは岩の町、ペトラへ逃れる。



終末の裁き 繁栄の上に イザヤ2:13~16

またそれは、高くそびえるレバノンのすべての杉の木*と、バシヤンのすべての檜の木 すべての高い山々と、すべてのそびえる峰々、すべてのそそり立つやぐらと、すべての堅固な城壁、タルシシュ*のすべての船、すべての慕わしい船の上にある。

*神殿建築にも使用。高級建材。富の象徴。

*ゴラン高原。牧草地と果樹の豊かな土地。

*地中海の西方(スペイン)を指す。

■掲げられる地名は、当時の繁栄の象徴。



終末の裁き 栄光の主 イザヤ2:17~18

その日には、人間の高ぶりはかがめられ、
人々の思い上がりは低くされ、【主】おひとりだけが高く上げられる*。

偽りの神々はことごとく消え失せる。

*神の裁きの目的、ゴール。

■大患難の時代の最後、再臨の主イエスは、
すべての人、全世界に明らかなたちで、
栄光の姿で地上に降り立たれる。

→死んで陰府にまで下られた方が!!



終末の裁き 恐れる人々 イザヤ2:19~20

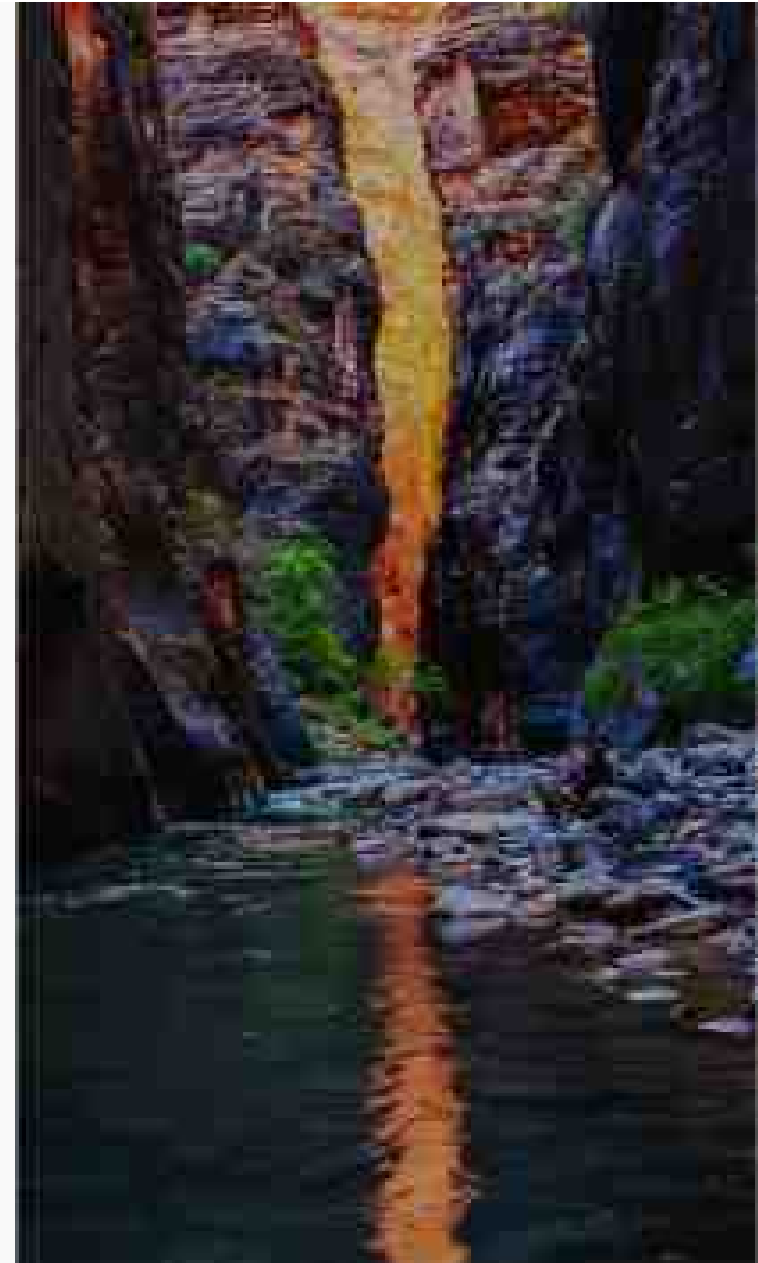
主が立ち上がり、地を脅かすとき、人々は【主】の恐るべき御顔を、その威光の輝きを避けて、岩の洞穴や土の穴に入る。

その日、人は、自分が拝むために造った銀の偽りの神々と金の偽りの神々を、もぐらや、こうもり*に投げやる。

*闇に生きる生き物なのが、象徴的。

→すべての偶像は闇の中に葬られる。

■罪人は、主の前には恐れひれ伏すしかない。



終末の裁き 頼るべき方 イザヤ2:21~22

主が立ち上がり、地を脅かすとき、人々は、【主】の恐るべき御顔を、その威光の輝きを避けて、岩の割れ目や、巖の裂け目に入る。

人間に頼るな。鼻で息をする者*に。そんな者に、何の値打ちがあるか。

*土の塵で形作られ、神の息を吹き入れられたのが人間。

■主の裁きは、人の無力さを暴き出す。



IV. まとめと適用

預言者の語る希望の本質とは？

今の時代も変わらない終末の希望を胸に!!



嘆きの壁・オリーブ山の朝日

イザヤの預言の三つの要素

① 罪の宣告（問われるのは今、現在）

→ 信仰者が常に問われるのは、**今、現在の自分の罪の状態。**

② 裁きの告知（間近にせまった裁き、世の終わりの裁き）

→ 裁きは必ず下る。**近い将来に。世の終わりに。**

③ 回復の希望（捕囚からの帰還。世の終わり）

→ 残された信仰者には希望がある。**近い将来と、世の終わりに。**

問われるのは今!! 回心した者には、確実な将来の希望がある

預言者の語る希望の本質とは？

- 捕囚後、近い将来(人間的には遠い)の希望が、帰還の約束。
- 近い将来について語られる希望は、捕囚からの帰還のみ。
→ 主が来られるまで、どれほどの苦難がイスラエルに及ぶのか。
- 捕囚、離散、迫害、ホロコーストでは1/3のユダヤ人が殺害。
→ 大患難時代には、2/3のユダヤ人が死に至る。
- 預言者が告げる真実の希望は、**世の終わりの神の国**にある。
→ **世の終わり**だからこそ、すべての時代の人々の**普遍的な希望**に!!

今の時代にも変わらない希望

- 最終的な回復まで、世界に苦難は尽きないことを覚えよう。
 - ➔ 世界の2/3が滅ぶ大患難未満の災厄は、この時代にも起こり得る。
- 私自身の人生にも、苦難や困難は途切れることはない。
 - ➔ なぜ？ということが起きるのが、罪が人を支配する今の時代。
- 預言者の時代も今も、神のタイムスケジュールは変わっていない。
 - ➔ 教会時代の今も、希望は、世の終わりの神の国にある。

今、私たちが希望を託すべきこと

- 世界の混沌を象徴するようなワールドカップ。
サッカーくらいにしか希望を託せない時代の闇はますます深まる。
- 「人間に頼るな」 主を恐れ、主の警告を心に刻もう。
世界を覆う絶望の闇は、暗さを増していくだろう。
- 預言者の時代から変わらない、主の約束に希望を置こう。
すべての信仰者が携拳され、世界は炎できよめあげられる。
王の王、栄光の主イエスを切に待ち望もう。

必ず来たる主イエスの王国が、私たちの希望のゴールだ

主イエスの王国が私たちの希望のゴール

イザヤ書2章2～3節

終わりの日に、【主】の家の山は山々の頂に堅く立ち、もろもろの丘より高くそびえ立つ。そこにすべての国々が流れて来る。多くの民族が来て言う。

「さあ、【主】の山、ヤコブの神の家に上ろう。

主はご自分の道を私たちに教えてくださる。

私たちはその道筋を進もう。」

それは、シオンからみおしえが、エルサレムから【主】のことばが出るからだ。

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、^{そむ}罪を^{つみ}重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ}神のみ子^こイエス・キリストが、
^{つみ}あがな ^{じゅうじか}し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

^{はか} ^{ほうむ}

②墓に葬られ、

^{みつかめ} ^{ふっかつ}

③三日目に復活した^{しん}こと、を信じます。

^{わたし} ^{こころ} ^{ひら} どうか私の心を開き、^{しゅ} ^{みことば} ^{むね} ^や ^つ 主の御言葉を胸に焼き付けてください。

^{こんとん} ^{やみ} ^ま ^{せかい} ^{なか} ^{みち} ^{みうし} 混沌と闇を増す世界の中で、道を見失うことのありませんように。

^{くなん} ^こ ^{きび} ^{さば} ^{のち} ^{かみ} ^{くに} ^た どんな苦難をも越えた厳しい裁きの後、神の国は建てられます。

^{おう} ^{おう} ^{えいこう} ^{しゅ} ^こ ^{とき} ^ま ^{もの} 王の王、栄光の主イエスの来られる時を待ち望みます。

^{しゅ} ^な ^{いの} 主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」